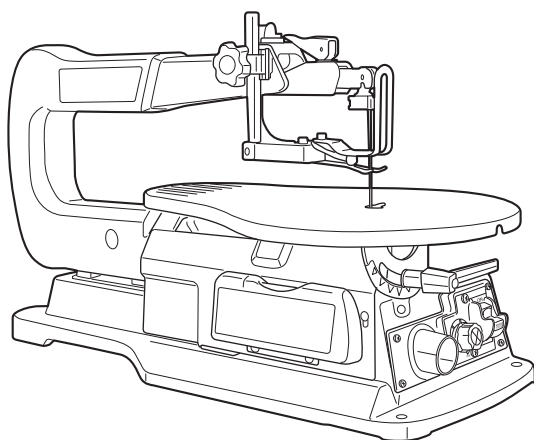


RYOBI

卓上糸ノコ盤 TFE-450

取扱説明書



もくじ

■安全上のご注意	1～6
■各部の名称・仕様	7
■付属品・用途・別販売品	8
■操作方法	9～17
■作業方法	18～19
■保守と点検	20

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△ 警告」と「△ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △ 警告： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △ 注意： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△ 警告」・「△ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
 - お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡ししてください。

警告

A) 作業環境

1. 作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

B) 電気に関する安全事項

1. 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。
 - ・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電するおそれがあります。

警告

3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。
 - ・ 感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。
5. 屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外使用に適した延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

C) 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業してください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・ 電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。
 - ・ 材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかりと固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

警告

6. きちんとした服装で作業してください。

- ・回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ・屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

D) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

- ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。

- ・スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご購入前にお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

3. 意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
- ・保管、または修理する場合
- ・その他危険が予想される場合

4. 使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。

- ・不慣れな方のご使用は危険です。

5. 電動工具の保守点検をしてください。

- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ・取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
- ・スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

警告

- ・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。

- ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。

- ・指定された用途以外に使用すると、事故や故障の原因になります。

8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

E) 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけをを用いた修理により安全性を維持することができます。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。 等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。

警告

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
4. 濡れた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電のおそれがあります。

卓上糸ノコ盤ご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、卓上糸ノコ盤をご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. 必ずアース（接地）してください。
 - ・ 感電の原因になります。
2. アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ ガス管に触れると爆発のおそれがあり、事故の原因になります。
3. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
4. 使用中は、工具類（糸ノコ刃など）に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
5. 糸ノコ盤は水平な台に設置し、すべらないようにボルトなどで固定してください。
 - ・ 振動で本体が動き台から落ちるおそれがあります。
6. 糸ノコ刃でコードを切断しないよう注意してください。
 - ・ 感電の原因になります。
7. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（糸ノコ刃など）や本体などに亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。
8. 使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用しているとけがの原因になります。
9. 延長コードは、アース中継線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・ アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

⚠ 注意

1. 工具類（糸ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 確実でない和外れたりけがの原因になります。
2. 切断中材料を無理に押しついたり曲げたりすると糸ノコ刃が破損することがありますので注意してください。
3. 切断の際は、切れ端が勢いで飛び散ることがあります。十分注意して、保護めがねなどを着用してください。
4. 糸ノコ刃の端は、ブレードホルダに確実に入れてから締付けてください。
 - ・ 浅かったり、締付けがゆるいと、切断作業中に抜け落ちることがあります。
5. 糸ノコ刃は、まっすぐに取付けてください。刃の寿命に影響が出たり、切断の際、折れるなどの原因となります。

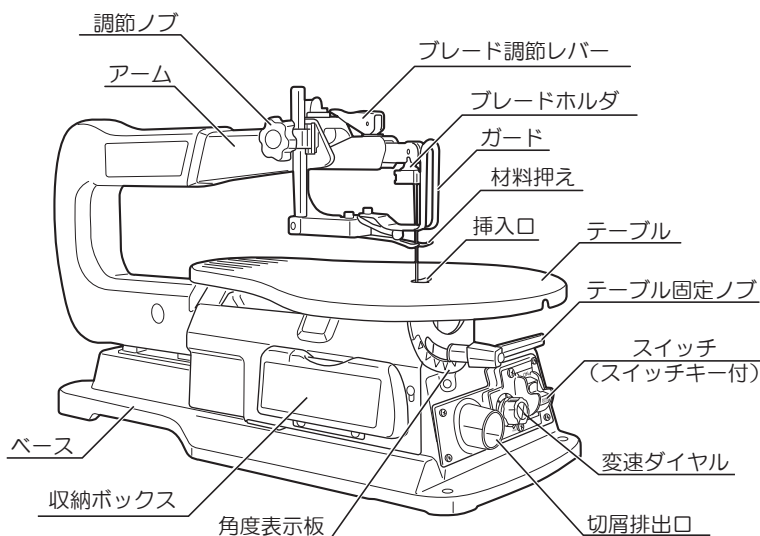
騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

各部の名称・仕様

●各部の名称



●仕様

- ・電源…………… 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・定格電流…………… 1.5 A
- ・消費電力…………… 50W
- ・無負荷ストローク数…………… 400～1,600min⁻¹
- ・ストローク量…………… 18mm
- ・切断能力（軟木）…………… 50mm
- ・フトコロ寸法…………… 400mm
- ・テーブル寸法（幅×長さ）…………… 250 X 380mm
- ・本体寸法（長さ×幅×高さ）…………… 605 X 295 X 320mm
- ・コード長さ…………… 1.8m
- ・質量…………… 12kg

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

付属品・用途・別販売品

●付属品

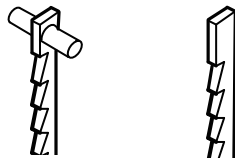
- ・糸ノコ刃（ピンエンド 72山）…………… 6
- ・六角棒レンチ（3mm）…………… 1
- ・六角棒レンチ（4mm）…………… 1
- ・ノコ刃交換用固定棒…………… 1
- ・ノズルアタッチメント…………… 1
- ・ラバーブーツ…………… 3

●用途

- ・木材の直線・曲線切り、中抜加工

●別販売品

- ・集じんホース（長さ2.5m 本体接続径（外径）30mm 集じん機接続径（外径）38mm）
 - ・糸ノコ刃（ピンエンドタイプ）木工用
40山、60山、72山 各5本組
- ※ 通常タイプの糸ノコ刃は市販品を利用してください。



ピンエンドタイプ 通常タイプ



- ・別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの
販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>

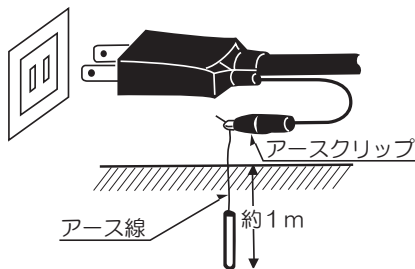
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



操作方法

●アースについて

- ・ 感電事故防止の為、使用に先立ち必ず接地（アース）してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
- ・ アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと本体の金属部（外部）間の導通を確認してください。
- ・ アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。

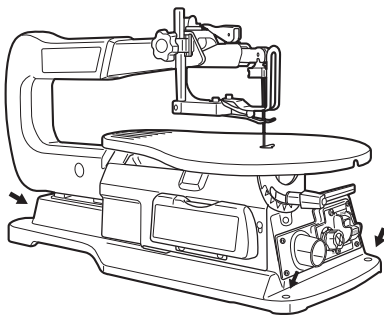


●漏電しゃ断器について

- ・ ご使用前に、本機が接続される電源に感電防止用漏電しゃ断器（漏電しゃ断器）が設置されていることを確認してください。

●作業台への取付け

- ・ 振動や切断作業による本体のズレを防止するため、頑丈で堅い作業台などにベースの3ヶ所の固定用ボルト穴を利用し、M8のボルトなどで固定されることをお勧めします。



(←) 固定用ボルト穴

●スイッチ / 変速ダイヤル

⚠ 警告

・使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

・スイッチ操作は、スイッチを上へあげると（ON）始動します。スイッチを下へさげると（OFF）停止します。



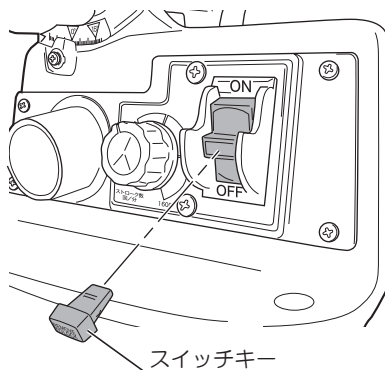
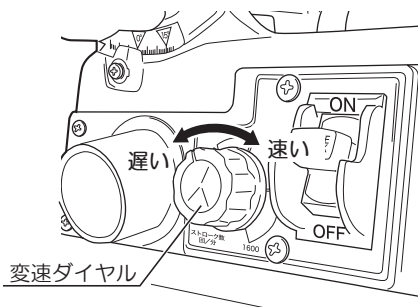
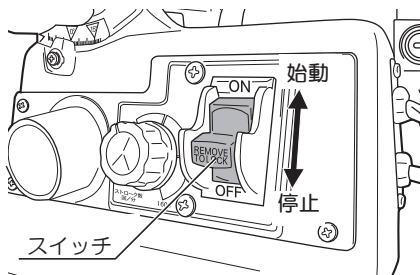
スイッチを入れてもすぐには糸ノコ刃は始動しませんが故障ではありません。モーターの回転が上がると糸ノコ刃が始動します。

・本機は変速ダイヤルを左右に回すことにより、速度を変えることができます。変速ダイヤルを矢印（速い）方向に回すとストローク数が増加し、矢印（遅い）方向に回せばストローク数が減少します。用途に合わせて速度調節を行なってください。



本機は過負荷プロテクターを内蔵しています。（糸ノコ刃に無理な力がかかるとモーター保護の為、瞬時にモーターが止まります。）内部過負荷プロテクターが作動しモーターが停止した場合は、スイッチをOFFにすれば、プロテクターが解除されます。本機の電源プラグを電源コンセントから抜き、ノコ刃付近の切断材料を取除いてから再始動してください。

・使用しないときや保管、持ち運ぶときは、スイッチをロックされる事をおすすめします。スイッチをロックするには、スイッチをOFFにし、スイッチキーを引抜いてください。スイッチキーを抜いていればスイッチは作動しません。使用するときには、スイッチキーをさし込んでください。



操作方法

●糸ノコ刃の取付け

⚠ 警告

- ・糸ノコ刃の取付け、取外しのときはスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意

- ・糸ノコ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと外れたり、けがの原因になります。

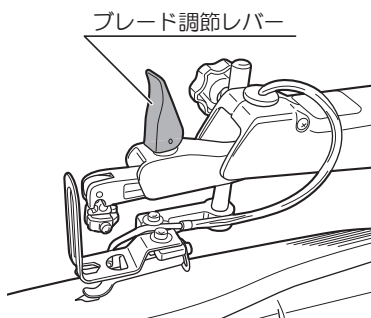


糸ノコ刃は垂直になるように取付けてください。また、糸ノコ刃がガタつかない程度に締付けてください。垂直でなかったり、締付け過ぎると切断作業中糸ノコ刃が折れやすくなります。

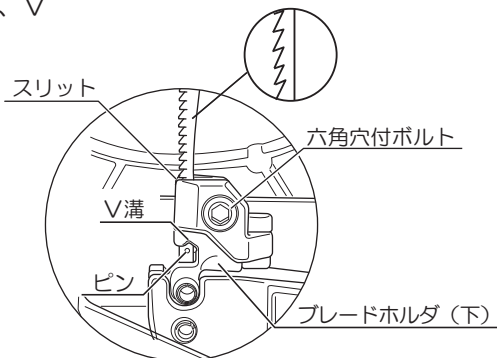
ピンエンドタイプ



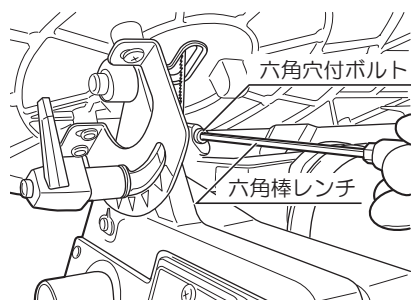
1. ブレード調節レバーを垂直位置にします。



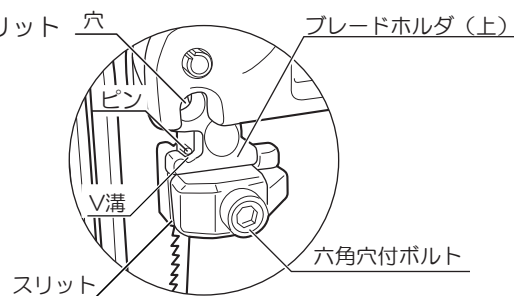
2. テーブルの挿入口に糸ノコ刃を下向きで通し、ブレードホルダ（下）のスリットに入れ、V溝にピンを引っ掛けます。



3. ブレードボルダ（下）が糸ノコ刃を軽くはさみ込む程度に付属品の六角棒レンチ（3mm）で六角穴付ボルトを締付けます。

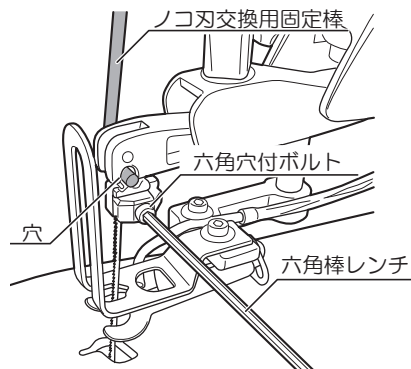


4. 糸ノコ刃をブレードホルダ（上）のスリットに入れ、V溝にピンを引っ掛けます。



5. 付属品のノコ刃交換用固定棒を穴にさし込み、ブレードボルダ（上）が糸ノコ刃を軽くはさみ込む程度に付属品の六角棒レンチ（3mm）で六角穴付ボルトを締付けます。

6. ノコ刃交換用固定棒を取外します。



操作方法

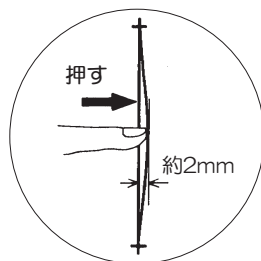
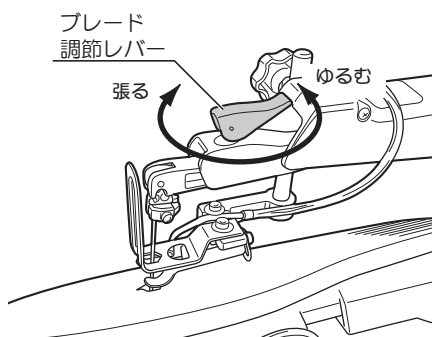
7. ブレード調節レバーを水平位置に下ろして張りをもちせてください。
8. 必要に応じて、糸ノコ刃に張りが出るまでブレード調節レバーを矢印（張る）方向に回してください。

糸ノコ刃の張りは、糸ノコ刃の中央を横に指で押して約2mmたわむ程度としてください。



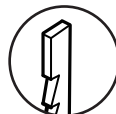
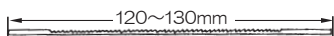
張りすぎないでください。張りすぎると切断作業時糸ノコ刃が折れます。

9. 取外しは、取付けの逆の手順で行なってください。



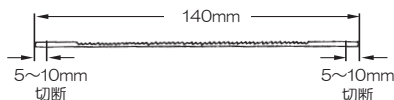
通常タイプ（市販品）

- ・市販品の糸ノコ刃（ピンなし）を取付けることができます。
- ・取付可能な糸ノコ刃は、120～130mmです。



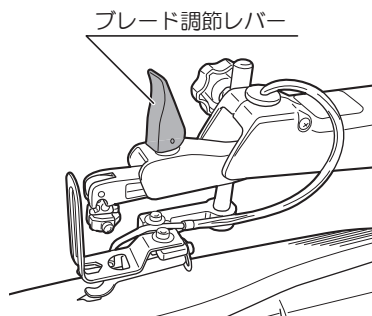
（例）140mm の糸ノコ刃を取付ける場合

- ・右図のように両端をペンチまたはニッパで切断してご使用ください。

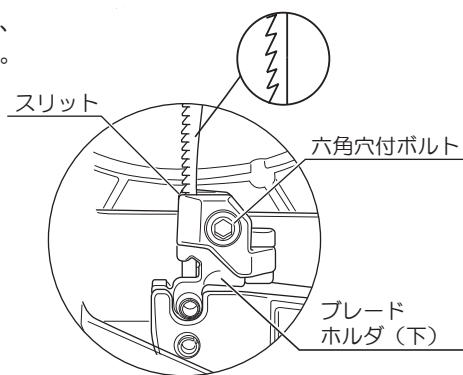


（取付け）

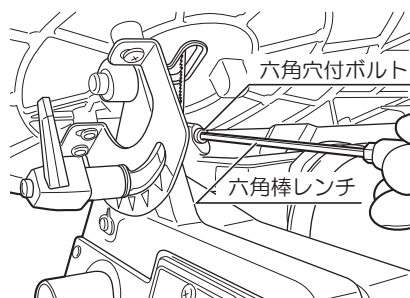
1. ブレード調節レバーを垂直位置にします。



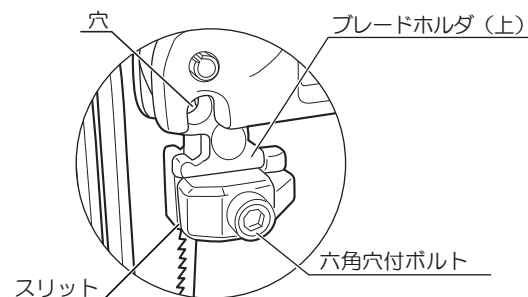
2. テーブルの挿入口に糸ノコ刃を下向きで通し、
ブレードホルダ（下）のスリットに入れます。



3. ブレードホルダ（下）が糸ノコ刃を軽くはさみ込む程度に付属品の六角棒レンチ (3mm)
で六角穴付ボルトを締付けます。

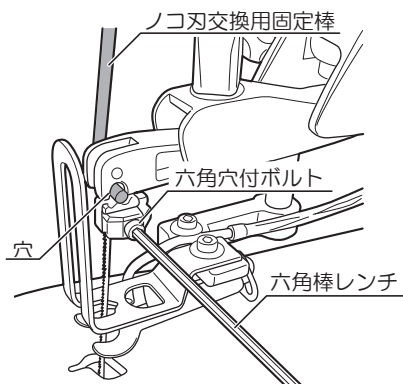


4. 糸ノコ刃をブレードホルダ（上）のスリット
に入れます。



操作方法

5. 付属品のノコ刃交換用固定棒を穴にさし込み、ブレードホルダ（上）がノコ刃を軽くはさみ込む程度に付属品の六角棒レンチ（3mm）で六角穴付ボルトを締付けます。

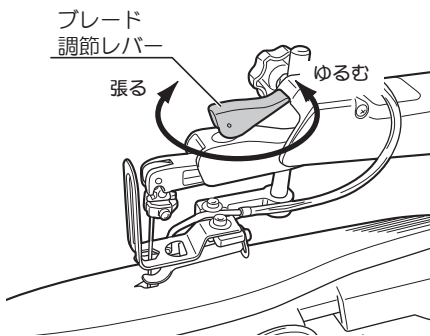


6. ノコ刃交換用固定棒を取外します。

7. ブレード調節レバーを水平位置に下ろして張りをもたせてください。

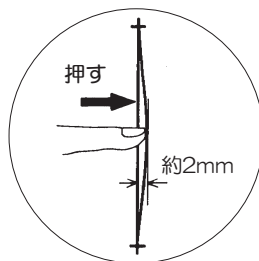
8. 必要に応じて、糸ノコ刃に張りが出るまでブレード調節レバーを矢印（張る）方向に回してください。

糸ノコ刃の張りは、糸ノコ刃の中央を横に指で押して約2mm たわむ程度としてください。



張りすぎないでください。張りすぎると切断作業時糸ノコ刃が折れます。

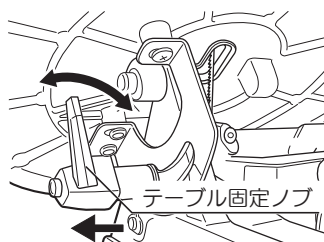
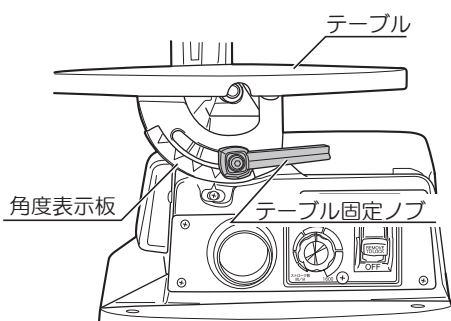
9. 取外しは、取付けの逆の手順で行なってください。



●テーブル

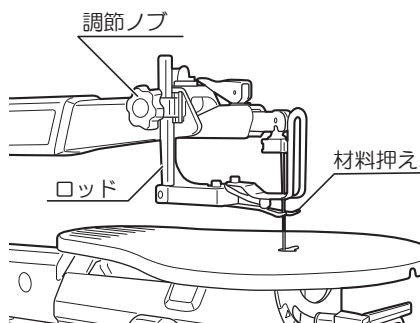
(テーブルの傾斜)

- ・ テーブル固定ノブをゆるめると、水平切断位置の0°から傾斜切断の左傾斜45°、右傾斜15°までの角度にテーブルを傾けて固定することができます。
- ・ テーブルの傾斜角度を決め、テーブル固定ノブを締めてテーブルを固定します。
- ・ テーブル固定ノブを手前に引いた状態で回転させると、ノブ位置を任意に設定できます。
- ・ テーブル角度を設定する際の目安となるように、テーブル下に角度表示板を貼付けています。より高精度が要求される場合は、試験切断を行なって、必要に応じてテーブルの調整を行なってください。



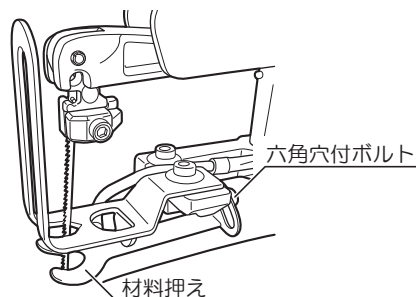
●材料押えの調整

- ・ 材料押えは、切断時のバタつきを抑えるためのものです。
- ・ 材料押えの調整は、調節ノブをゆるめロッドを上下に動かし、材料押えを切断材料の上におろした状態で調節ノブを締付けます。切断材料を送りにくい、あるいは切断材料がバタつく場合は、材料押えの高さ調整をしてください。調整を終えたら調節ノブを締付けてください。



(材料押えの傾斜)

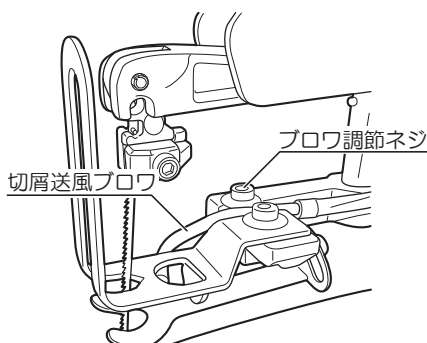
- ・ 傾斜切断を行なう場合、材料押えをテーブルに合わせて傾斜させることができます。材料押えを傾けるには、付属品の六角棒レンチ(4mm)で六角穴付ボルトをゆるめ、テーブルと水平になるように傾けた後、六角穴付ボルトをしっかりと締付けてください。



操作方法

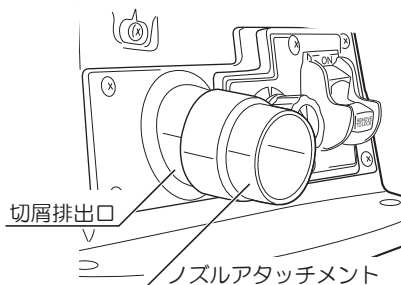
●切屑送風ブロワの調整

- ・切屑送風ブロワを固定しているブロワ調節ネジを付属品の六角棒レンチ (4mm) でゆるめ、切屑送風ブロワの位置を少しずつ移動し、切断線上で最も効果的な位置に空気を送るよう調整してください。調整後は、ブロワ調節ネジを締付けてください。



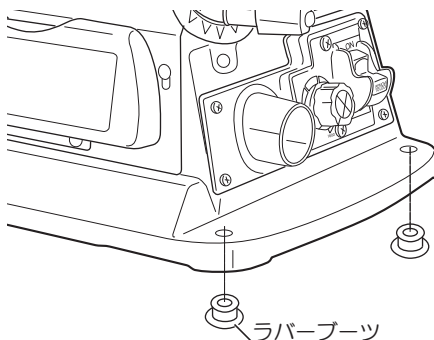
●集じん機への取付け

- ・集じん機へ接続して作業をする事により、粉じんの少ない作業ができます。
- ・切削排出口に付属品のノズルアタッチメントをさし込みます。ノズルアタッチメントの口に集じんホース (外径 30mm) を接続し、反対側 (外径 38mm) を集じん機のホースに接続してください。



●ラバーブーツについて

- ・付属品のラバーブーツをベースにある3ヶ所の固定用ボルト穴に取付けたら、作業時本体が滑りにくくなります。また、ラバーブーツを取付けたまま、作業台への固定も可能です。



作業方法

⚠ 警告

- ・ 糸ノコ刃の取付け、取外しのときはスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ 使用中は、糸ノコ刃に手や顔など近づけないでください。けがの原因になります。
- ・ 糸ノコ盤は水平な台に設置し、すべらないようにボルトなどで固定してください。振動で本体が動き、台から落ちるおそれがあります。

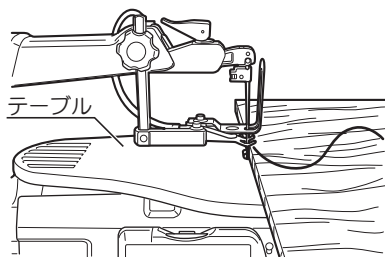
⚠ 注意

- ・ 切断中材料を無理に押しついたり曲げたりすると糸ノコ刃が破損することがありますので注意してください。
- ・ 切断の際は、切れ端が勢いで飛び散ることがあります。十分注意して、保護めがねなどを着用してください。
- ・ 糸ノコ刃は、まっすぐに取付けてください。刃の寿命に影響が出たり、切断の際、折れるなどの原因となります。

● 曲線切りについて

- ・ 急なカーブや厚板の曲線切りをする場合、思ったライン上から切断線がズれたり、切断面が板厚に対して直角にならないことがあります。これは、糸ノコ刃が曲線切りしやすいように細くなっているためにでるタワミ、ネジレによるものです。

糸ノコ刃のタワミ、ネジレが小さくなるようにゆっくり切るか、少し修正代を残して切った後サンドペーパーやヤスリで仕上げてください。

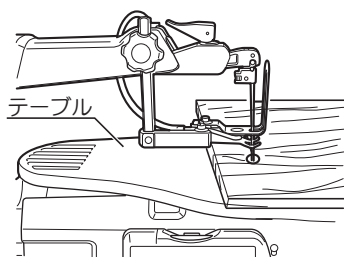


作業方法

●中抜き加工

・本機糸ノコ盤を使用して、板の外郭に切目を入れずに板の内側を切抜くことができます。

1. 糸ノコ刃を取外してください。
2. 中抜きする板にドリルなどで下穴をあけます。
3. 下穴がテーブルの挿入口の上にくるように、テーブルに板を置きます。
4. 糸ノコ刃を板の下穴に通して取付けます。糸ノコ刃の張り具合を調整してください。
5. 中抜きを終えたら、糸ノコ刃を取外し、テーブルから板を取除いてください。



切断作業中糸ノコ刃が折れる場合は、下記のことを確認してください。

1. 切断材料の送りが速すぎたり、無理にこじたりしていないか。
2. 糸ノコ刃の張り具合は適切か、締付け過ぎていないか。
3. 糸ノコ刃は垂直に取付けられているか。
4. 糸ノコ刃の選定は正しいか。

厚さ 6mm 以下の薄物の木材切断には、歯数の多い (70 山)、幅の狭い糸ノコ刃が適しています。

厚さ 6mm 以上の厚物の木材切断には、歯数の少ない (60 山以下) 幅の広い糸ノコ刃が適しています。



保守と点検

⚠ 警告

- ・ 保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

●各部取付けネジの点検

- ・ 各部を点検し、ビスなどのゆるみがないか、確認してください。ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

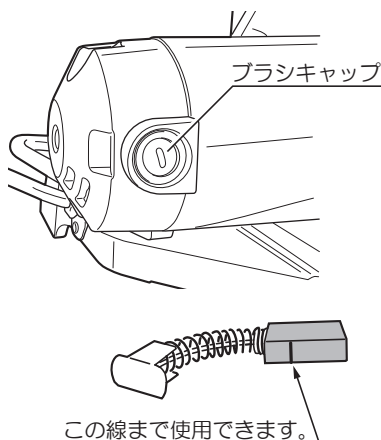
- ・ 油汚れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

- ・ 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。

●カーボンブラシについて

- ・ カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシが全長の1/3以下、即ちカーボンブラシの横の線まで短くなりましたら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用されますと、モーター焼損の原因になることがあります。
- ・ カーボンブラシの交換は、⊖ドライバーでブラシキャップを外せば、簡単に行なえます。
- ・ カーボンブラシは2個1セットです。交換される時は指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。



●修理について

- ・ 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- その他、部品ご購入の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

— NOTE —

— NOTE —

サービスネットワーク（営業所）

当社サービスネットワークは、以下のQRコードまたはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元

京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

本 社

〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1

TEL 052-806-5111 FAX 052-806-5141

<http://www.kyocera-industrialtools.co.jp>



※ リョービ販売株式会社は京セラインダストリアルツールズ販売株式会社に社名を変更しました。